国会・内閣・裁判所

名前

問1　日本の司法制度における国民の参加について、裁判員制度が果たす役割の背景や目的として最も適切な説明はどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 地方自治における直接請求権の一環として、住民が首長の判断を監視する仕組みを構築するため。
2. 複雑化する民事訴訟を迅速に処理するために、専門知識を持つ一般市民に判決を委ねるため。
3. 裁判の内容に国民の視点や感覚を反映させることで、司法に対する国民の理解と信頼を深めるため。
4. 裁判官の不足を補うために、法律の専門教育を受けていない国民に裁判事務を代行させるため。

問2　衆議院で内閣不信任の決議案が可決された際、日本の議院内閣制に基づいて内閣が取るべき行動として正しいものはどれですか。（2023年 香川県公立入試 類似）

1. 最高裁判所に判断を仰ぎ、不信任決議の正当性を審査する。
2. 内閣総理大臣が特定の国会議員を選び、免責特権を剥奪する。
3. 10日以内に衆議院を解散するか、または内閣総辞職をする。
4. 参議院の同意を得て、衆議院の決議を無効にする。

問3　日本国憲法において定められている内閣の職務のうち、予算に関する記述として適切なものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 国の予算案を作成して国会に提出する
2. 決算を検査し、その報告書を作成して次年度の予算に反映させる
3. 予算が憲法に違反していないかを判断し、執行を停止する
4. 提出された予算案を審議し、成立させるかどうかを議決する

問4　日本の国政選挙において、参議院議員の選挙は3年ごとに規則正しく行われます。これに対し、2000年から2014年までの記録を見ると、衆議院議員の選挙は1年から4年の間で不規則な間隔で行われています。衆議院でこのような不規則な選挙が行われる要因となっている制度上の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 参議院には解散がない代わりに、衆議院は3年ごとに必ず全議員が入れ替わる仕組みであるため。
2. 内閣総理大臣が交代するたびに、憲法の規定によって衆議院の解散が義務付けられているため。
3. 内閣が衆議院の全議員の職を、4年の任期満了前に解くことができる「解散」の制度があるため。
4. 衆議院議員の任期が参議院よりも長く設定されており、途中で辞職する議員が多いため。

問5　日本の政治体制において、内閣総理大臣が国会議員の中から指名される仕組みに関連して、内閣が国会の信任に基づいて成立し、行政権の行使について国会に対して一体となって責任を負う仕組みを何といいますか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 直接民主制
2. 大統領制
3. 議院内閣制
4. 三権分立

問6　日本国憲法では、司法に対する民主的なコントロールとして、最高裁判所の裁判官がその職務にふさわしいかどうかを国民が直接チェックする「国民審査」が定められています。この審査における投票方法として正しいものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 辞めさせたくない（信任する）と思う裁判官の氏名の上の欄に「○」を書き、辞めさせたい裁判官の欄は空欄のままにする。
2. 最高裁判所の裁判官の中で、最もふさわしいと考える人物の氏名を一人だけ自筆で記入する。
3. 辞めさせたいと思う裁判官の氏名の上の欄に「×」を書き、辞めさせなくてよいと思う裁判官の欄には何も書かない。
4. 辞めさせたくない（信任する）と思う裁判官の氏名の上の欄に「○」を書き、辞めさせたい裁判官の欄には「×」を書く。

問7　2012年11月や2014年11月の臨時国会の会期中に衆議院の解散が行われた事例のように、任期満了を待たずに解散が行われた場合、その後の総選挙の期限と、新たに召集される国会の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 三重県公立入試 類似）

1. 解散の日から30日以内に衆議院議員総選挙を行い、選挙の日から40日以内に臨時国会を召集する
2. 解散の日から40日以内に衆議院議員総選挙を行い、選挙の日から30日以内に特別国会を召集する
3. 解散の日から40日以内に衆議院議員総選挙を行い、その翌年の1月に通常国会を召集する
4. 解散の日から30日以内に参議院議員通常選挙を行い、選挙の日から30日以内に特別国会を召集する

問8　日本の司法制度において、国会が制定した法律や内閣が行う行政処分が憲法に違反していないかを、最終的に決定する権限を「違憲審査権」といいます。この権限を持つ最高位の裁判所は、その役割から何と呼ばれますか。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 憲法の番人
2. 法の支配の確立者
3. 行政の監視役
4. 三権の長

問9　日本の司法制度において、2009年から導入された「裁判員制度」の仕組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）

1. 地方裁判所の判決に納得がいかない場合に行われる第二審（控訴審）において、市民が裁判のやり直しが必要かどうかを判断する。
2. すべての刑事裁判において、裁判官が有罪・無罪を決定した後に、市民だけで構成される合議体が刑罰の重さのみを決定する。
3. 金銭の貸し借りなどのトラブルを扱う民事裁判において、市民が裁判官に対して社会の一般的な感覚に基づいた助言を行う。
4. 殺人などの重大な刑事裁判の第一審において、市民から選ばれた裁判員が裁判官と共に有罪・無罪の判断および量刑の決定を行う。

問10　日本国憲法が定める内閣総理大臣を決定する手続きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。主権者である国民が選挙を通じて政治に参加しているという観点から説明したものを選びなさい。（2020年 高知県公立入試 類似）

1. 国民が直接投票を行い、全国で最も多くの票を得た候補者が自動的に就任する。
2. 最高裁判所の長官が、国会による推薦を受けた人物の中から、法に基づき指名する。
3. 内閣の助言と承認に基づき、天皇が国民の中から実質的な権限を持って指名する。
4. 国民が選挙で選んだ代表者によって構成される国会が、議決によって国会議員の中から指名する。

問11　内閣が国会に対して「連帯して責任を負う」という原則があり、かつ内閣を組織する国務大臣の過半数が国会議員でなければならないという条件がある政治体制について、その具体的な仕組みとして最も適切なものはどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）

1. 司法・立法・行政の三権が完全に独立し、互いに干渉することなく独自の判断で政策を決定する。
2. 行政の長である大統領が国民から直接選挙で選ばれ、立法府である議会とは独立して行政権を行使する。
3. 国会議員による指名ではなく、都道府県知事の互選によって行政の代表者が決定される。
4. 衆議院で内閣不信任決議が可決された場合、内閣は10日以内に総辞職するか、衆議院を解散しなければならない。

問12　日本の政治制度において、国家権力を「立法」「行政」「司法」の三つの独立した機関に分散させている最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 特定の機関に権力が集中することを防ぎ、国民の権利や自由を守るため
2. 政治的な意思決定を一本化し、国家としての権力を強化するため
3. 国会の判断に内閣が絶対に従う仕組みを作り、政治の混乱を避けるため
4. 行政の作業を分担することで、公務員の人数を減らし効率化を図るため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 裁判の内容に国民の視点や感覚を反映させることで、司法に対する国民の理解と信頼を深めるため。	裁判員制度の導入背景には、司法をより身近なものにし、国民の健全な社会常識を裁判の内容に反映させるという目的があります。これにより、司法が専門家だけの閉ざされた世界になるのを防ぎ、国民の公共の精神を高めると同時に、裁判プロセスに対する社会的な理解と信頼を得ることが期待されています。これは「法の支配」をより強固にするための民主的な試みと言えます。
問2	答え 3 10日以内に衆議院を解散するか、または内閣総辞職をする。	衆議院による不信任決議は、内閣に対する信任が失われたことを意味します。このとき内閣は、解散によって国民に真意を問う（衆議院の解散）か、自ら退陣して新しい内閣に道を譲る（総辞職）かの選択を迫られます。これは内閣が国会に対して「連帯責任」を負っている制度の根幹を示す仕組みです。
問3	答え 1 国の予算案を作成して国会に提出する	日本の政治制度では、予算の作成と提出は行政権を持つ内閣の権限とされています。一方で、提出された予算案を審議し、認めるかどうかを決定（議決）するのは、国民の代表機関である国会の役割です。このように、内閣が「作成・提出」を行い、国会が「審議・議決」を行うという権力分立の仕組みを理解することが重要です。
問4	答え 3 内閣が衆議院の全議員の職を、4年の任期満了前に解くことができる「解散」の制度があるため。	参議院は3年ごとに議員の半数が入れ替わる仕組みであり解散もありませんが、衆議院には「解散」があるため、4年の任期を全うせずに選挙が行われることが頻繁にあります。解散は、内閣不信任決議案が可決された際や、内閣が国民の信を問う必要があると判断した際に行われるため、実施時期が一定ではなく、選挙の間隔が不規則になります。
問5	答え 3 議院内閣制	日本の憲法は、行政を担う内閣が立法府である国会の信任を得て存立する制度を採用しています。これを議院内閣制と呼び、内閣は国会に対して「連帯して責任を負う」ことが定められています。内閣総理大臣の指名に関する新聞報道などでも、この制度に基づき、国会が行政のリーダーを選ぶ過程が伝えられます。
問6	答え 3 辞めさせたいと思う裁判官の氏名の上の欄に「×」を書き、辞めさせなくてよいと思う裁判官の欄には何も書かない。	国民審査は衆議院議員総選挙と同時に行われる制度で、主権者である国民が裁判官を直接罷免できる仕組みです。投票用紙にはあらかじめ裁判官の氏名が印刷されており、不適任だと判断する裁判官に対してのみ「×」を記入します。何も書かずに提出した場合は「辞めさせる必要はない（信任する）」とみなされるため、白紙投票が無効票にならない点が特徴です。
問7	答え 2 解散の日から40日以内に衆議院議員総選挙を行い、選挙の日から30日以内に特別国会を召集する	日本国憲法第54条の規定により、衆議院が解散されたときは、解散の日から40日以内に衆議院議員の総選挙を行い、その選挙の日から30日以内に特別国会（特別会）を召集しなければなりません。通常国会（常会）は毎年1回、1月中に召集されるものであり、臨時国会（臨時会）は内閣が必要と認めた際や議員の要求があった際に召集されますが、解散後の選挙を経て最初に開かれるのは特別国会であるという点が重要です。
問8	答え 1 憲法の番人	最高裁判所は、すべての法律や命令、規則、処分が憲法に適合しているかどうかを決定する最終的な権限（違憲審査権）を持っています。国民の基本的人権が侵害されないよう、憲法を最高法規として守る役割を担っていることから、このように表現されます。
問9	答え 4 殺人などの重大な刑事裁判の第一審において、市民から選ばれた裁判員が裁判官と共に有罪・無罪の判断および量刑の決定を行う。	裁判員制度は、国民が刑事裁判に参加することで、司法に対する理解と信頼を深めることを目的とした制度です。対象となるのは殺人や放火などの重大な刑事事件の第一審（地方裁判所）に限られています。裁判員は裁判官と共に対等な立場で評議を行い、被告人が有罪か無罪かという判断だけでなく、有罪の場合にどの程度の刑罰にするかという「量刑」まで決定に関わる点が大きな特徴です。
問10	答え 4 国民が選挙で選んだ代表者によって構成される国会が、議決によって国会議員の中から指名する。	日本国憲法において、主権者である国民は選挙を通じて国会議員を選出します。その国民の代表者で構成される国会が、国会議員の中から内閣総理大臣を「指名」し、その後、天皇が形式的・儀礼的な国事行為として「任命」を行います。これにより、国民の意思を間接的に行政の長へと反映させる間接民主制の仕組みがとられています。
問11	答え 4 衆議院で内閣不信任決議が可決された場合、内閣は10日以内に総辞職するか、衆議院を解散しなければならない。	日本の議院内閣制では、立法権を持つ国会（特に衆議院）と行政権を持つ内閣が強い信頼関係で結ばれています。国会からの信任を失ったことを示す「不信任決議」がなされた際には、内閣は自ら総辞職して身を引くか、衆議院を解散して総選挙を行い、国民に信を問う必要があります。
問12	答え 1 特定の機関に権力が集中することを防ぎ、国民の権利や自由を守るため	一つの機関にすべての権力を集めてしまうと、その機関が独裁的な判断を下し、国民の権利を不当に侵害する恐れがあります。これを防ぐために、フランスのモンテスキューが唱えた三権分立の考えに基づき、権力を分けて互いに抑制・均衡（チェック・アンド・バランス）を保つ仕組みがとられています。